柏ビレジ・ニュース

柏ビレジ自治会発行

1993年３月31日

一年をふり返って

自治会長　服部　博

前会長の戸崎巌氏から自治会長の引継ぎを受けた時に「本年度は柏ビレジ創立十周年記念の年なので恒例のイベントの他に十周年行事があるから頑張ってくれ」と言われたが、光栄であると同時に厄介なことになったなと思ったのは正直なところでした。この外にも集合住宅の問題で地主や近隣の方々との会合や、運動広場の利用方法等の問題についての会合もあり、前年から引継ぎ役員として残留して下さったのは私を入れて4名に過ぎなかったので当初は何かととまどいが多く、役員の方々の御協力を得、又、戸崎さんには何度も教えを乞い相談役の近藤元会長にもアドバイスを受けたりして、徐々に形を整えて来たように思います。夏祭りは十周年記念として盛大に行い、文化祭と同日行った十周年記念行事も無事に終了した頃から役員さん達との意志交流も頓にスムーズになり、お互いに胸襟を開いて語り合えるようになりました。人を知るにはやはり半年位の年月が必要だとつくづく思った次第でした。もちつき大会も好天に恵まれ大勢の方々が参加して下さり、たいへん賑いました。地域との交流には田中地区柏まつりの行事や田中地区運動会、敬老会があり、これら行事にも大勢の住民の方々が参加され、盛り上げて下さったことは有難く思っています。

いろんな行事を行うに当っては自治会関係の役員だけでは力不足ですから子供会、テニスクラブの役員さん方、又新樹会や盆栽クラブの方々にも何かとお世話になり本年度の行事はすべて順調に終了出来たことを感謝しています。十周年の行事については委員長の山崎勝彦氏、副委員長横倉馨氏他十四名の委員の方々が多くの時間をさいて献身的に行事を進めて下さったことには感銘を受けると共に強く印象に残っています。十周年委員会で引き続き審議する問題として自治会館の増設がありますがこれは総会で住民の方々の御賛同を受ければ新しい委員会で検討される予定となっています。一年間あわただしく過ぎてゆきましたが、多くの知友を得て貴重な年であったと思います。

一年を振り返り

自治会副会長　原　一夫

自治会役員を再び引き受けた今年一年もあっ！という間に過ぎ去りました。

去年と違い今年は役員で残ったのが、たった四人だったので力を合わせ他の役員の方や会員の方に迷惑をかけないようにと一年間無我夢中でした。

ふり返ってみると近年にないほどいろいろな問題があったような気がします。第一に集合住宅の建築問題、第二に運動広場の解放問題そして、自治会発足十周年の年（自治会が直接タッチしませんでした）などありましたが、一番の問題は、行事に精通していなかったことだと思います。

しかし役員の方々や会員の皆様の協力によって集合住宅の建築問題や運動広場の問題は一応解決を見ました。行事にしてもなんとか遣りおえることができ、とくに三大イベントのひとつ柏ビレジ夏祭りは、盛り上がりと、花火大会の豪華さで大成功だったと自負しており、柏市の名物になればと願ってます。

ビレジをより一層良くするため自治会の一層の発展を期待し、会員一人一人の参加をお願いするとともにご協力いただいた皆様に感謝とお礼を申し上げます。

支部長一年間をふり返って

第一支部支部長　関口芳紀

平成四年三月、前任の支部長さんより次年度の支部長としてのご依頼を受け、引き受けることになりました。それまで自治会活動といえば運動会に出たこと、総会に出席したこと等、あまり積極的に参加した訳ではなかったので、正直何をやるのか戸惑いました。

早速、当支部局内に於てアパート建設問題が持ち上がり、服部会長、小倉建築協定委員長を始め、近隣の皆様・会員の皆様には多大の協力や励ましを頂きましたが、結局建築されることとなってしまい、自治会としての力の無さを痛感させられました。しかし、そんな中にも月に一度行われる役員会を通して、自治会の活動方針を知り、多数の人達とも知り合うことが出来、連帯感のようなものが生まれてきたように思いました。

年間の行事である夏祭りや、運動会・文化祭、正月のビレジの皆様方とも話し合う機会を得、自治会活動の参考になりました。ビレジの大きな行事である夏祭りは、屋台の出店や大鼓の打ち手、特に花火には力をいれ盛大に催すことが出来ました事は、役員全員の大きな喜びでした。正月のもちつき大会では多数の会員の参加を得て、長時間待たせてしまった事等は深く反省しております。役員にとっては特に今年は十周年の記念として、講演等もあり忙しかったのではないかと思います。運動会など一部の行事は、参加される会員が少なく役員総出でやらなくてはならなかったこと等これからは皆様の行事に対する積極的な参加を期待します。

今後も自治会活動が発展していくことを祈念して、筆をおきます。

第11回

柏ビレジ定時総会

のお知らせ

日時　４月25日(日)
午後１時～４時

場所　花野井小学校体育館

- 柏ビレジ自治会定時総会
- 柏ビレジ緑化協定定時総会
- 柏ビレジ共有施設管理組合定時総会
- 花野井地区建築協定定時総会
- 柏ビレジ建築協定定時総会

この一年をふりかえって

事業部長　森　正明

柏ビレジ自治会も十周年を迎え、会長も戸崎会長から服部会長へと交替しました。例年役員の改選時には半数近くが留任するのですが、今回は留任する役員が、服部会長を含め僅か四名でした。更に、今年度は、運動広場の協定の更改時期、集合住宅の建設といった今までにない問題が生じました。

私は、自治会員三年目といいながら、緑化協定委員会からの派遣役員であり、自治会活動の中心である総務部、事業部が何をやるのかよくわからぬまま、事業部長を引きうけてしまいました。

自治会事業部の活動は、「柏祭り田中地区大会」「田中地区運動会」への参加、ならびに、「柏ビレジ夏祭り」「柏ビレジ文化祭」「もちつき大会」の企画運営です。特に戸外での行事は、天候に左右されますが、幸いに本年度は、好天気に恵まれました。特に、「もちつき大会」については、前日まで悪天候であり、本番の日のみ好天気となって終了できたことが一番印象に残っています。

自治会活動の目的は種々あるかと思いますが、その第一は会員の親睦をはかることではないかと思います。親睦をはかるために、自治会主催の行事は不可欠であると思います。

「夏祭りの花火」「もちつき大会」は、柏ビレジの自治会の規模が大きいから、できるのです。もっとも、花火の音がうるさいと苦情を言う方も一部おられたり、自治会はいらないという人も一部いるようですが……。もちつき大会も毎年参加者が増え、容器持参をお願いして二年目の今年は、かなり定着し、ゴミの量の低減に対する理解が、深まってきたのではないかと思います。

その他の事項として、東武鉄道と話し合いの機会を設け、バスの増便と、回数券のビレジ内販売を要請しました。回数券については近日中に、東急ストアで販売される予定です。

バスの増便要求については、今後も継続交渉していただきたいと思います。

以上一年間事業部長を務めさせていただきましたが、皆様方のご支援ご協力ありがとうございました。

新年度の役員の皆様に対してのご協力ご支援をお願いして、一年間の報告とさせていただきます。

支部長活動の一年を、振り返って

第三支部長　志賀孝行

昨年四月に選任され、この一年間の活動雑感を、述べさせていただきます。最初に支部長の役割を大別すると、自治会並びに関係諸団体の活動、情報の伝達。担当支部住民の方々の要望対処。諸行事の運営実行委員としての活動。等々、前役員より聞き、大変だなと思いスタートしました。最初に感じた事は、印刷物、回覧文書が毎週、配布依頼あり、まるでメッセンジャーボーイ役で、これでは各戸に配布いただく班長様に申し訳ないと感じ、他支部長も同様の思いで、役員会にて会長の改善努力で、月二回程度の配布サイクルに、負担改善を計っていただきました。少し工夫すれば役員の負担を軽減出来る一例かと思います。本年は通常行事に加え、アパート問題、運動公園の利用改善、十周年行事等、特別テーマが有り、関係された役員方々も忙しく活動され、各々の目標の達成がなされており、感謝する次第です。強く印象に残った活動としては、一月の行事である「餅つき大会」で、快晴にめぐまれた事とバブルショックの影響で遠出される人が少なかった？事で予想以上の参加者があり、お餅の供給が間に合わなくなり、役員一同、寒い中汗をかきました。スムーズにもらえる方法として、開始直後に来場いただくと、待たずにもらえますヨ！

色々な行事に参加して、ビレッジの方々と知り会う事が出来た事は、私にとって大きな収穫でした。最後に、ビレジ住民の方々の、より積極的な自治会活動の参加が、柏ビレジの生活環境の充実につながりますので、各位の支援を御願いします。

「ボロ市」フリーマーケットは宝の山

本庄光枝

二年ほど御無沙汰していた「ボロ市」フリーマーケット。果たしてお客さんが来てくれるだろうかと不安と期待に胸をドキドキさせていた実行委員。ところが2/21当日は自治会館溢れんばかりの大入満員、大盛況。皆さん本当に御苦労様でした。

フリーマーケットの効用その①は、わが家の押し入れが片付くということです。（背後にわが家は片付いてないと夫の声）主婦なら誰も、季節ごとに衣類を整理しながら、捨てるものはゴミに出すけれど、まだ充分着られる子供の服や、引き出物としていただいたコーヒー茶わんのセットや花びんなど、捨てるに捨てられず、あげるにあげられず（人に差し上げるというのもなかなか難しいものなのです）押し入れいっぱい抱え込んでいるんじゃないかしら。違います？

効用その②は、わが家にとっては不用品でもよそその家では必要としている人がいて、不用品が生き返ってお役に立つということです。例えば、我が子二人が使ったベビー毛布、新品状態ではないので、買う人がいるだろうかと思っていたところ、ペットのわんちゃんの暖かいベッドになって役立っているとか。

効用その③は、にわか売り屋さんになってお客さんとのやりとりの楽しさです。買おうかどうか迷っているお客さんに「こっちのタオルも付けて二百円」「買った」いつもは買う側、消費者の主婦が売り屋さんになって味わう〝こんなもの売れた〟の快感。来年はぜひあなたも、あなたも、売り屋さんにどうぞ！

編集後記

昨年の四月に広報担当になって、第一号のビレジニュースは、無我夢中で、かなりの時間をかけて、やっと六月に発刊することができるという状態でした。当初の行事予定からしても、せいぜい四号くらいの発刊で一年を終えてしまうだろうと思っていたのですが、なんと、この四一号で通算六号目の発刊となりました。ビレジニュースは写真集ではありませんから、住民の声、役員の方々の所感および行事のお知らせがメインで、紙面を埋めなければならないために、多くの方々に時間のない中、記事を書いて協力いただきありがたく思っています。しかしそんな中でも、紙面を飾るというより、全く写真ばっかりになってしまった号もあり、これは私共、広報担当の努力不足と反省しております。ビレジニュースを発刊して、ほんとに皆さんに読んでもらってるのかという思いを片隅にいだいて、前号で〝自治会館で写真展示〟とお知らせを出しましたが、このことを知って訪れる人は少ないようで、皆さん重要な記事をさっと目を通すということなのかなと思ってます。したがってビレジニュースは「無理しないで、コンパクトに、タイムリーにやっていくのが一番」だと、次の担当の方に言い残してここに筆をおくことにします。